

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.221)

1. 豊田PCB処理事業部会について

7月20日(水)に令和4年度第1回「ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会豊田PCB処理事業部会」を開催しました。

この部会は、4名の学識経験者で構成され、環境省、愛知県及び豊田市からもオブザーバーとしてご出席いただいております。今回も新型コロナウイルス対応の為、WEB会議で開催しました。

当事業所から、令和4年6月末時点におけるPCB廃棄物の処理状況、環境モニタリング状況等及び豊田PCB処理施設の解体撤去の検討状況についてご報告しました。



保管事業者の皆様から当社に登録いただいた処理物のうち、PCB油を含む変圧器やコンデンサー及びPCB廃棄物の入っていた保管容器のいずれも99%以上の処理を完了しております。

事業所内の労災及び漏洩トラブルもありませんでした。

また、環境モニタリングについても、良好な測定結果であることを報告し、委員の方々からは、当事業所のPCB廃棄物処理が順調に進んでいるとの評価をいただきました。また、処理施設の解体撤去については、より具体的な検討を深めていくよう期待が示されました。

2. 毎月21日は安全の日

平成19年2月21日から毎月21日を『安全の日』としています。

この『安全の日』は、過去のトラブルを風化させることなく、常に安全への意識をもって操業することの大切さを思い起こす日でもあります。

現在、新型コロナウイルス対策として以前は朝に行っていた安全集会所長と運転会社社長の訓示を書面で回覧する方法で行っています。

また、安全パトロールも必要最小限の人数に絞って行うという工夫で安全第一の大切さを呼びかけています。



3. 夜間想定防災訓練を実施しました

当事業所では、24時間4班3交代の勤務体制をとっている為、万が一の夜間の火災発生を想定して、限られた夜勤者で被害を最小限に止めるべく夜間想定防災訓練を実施しました。

各班が一回は訓練を行うように、8月に4回の訓練を実施しました。この訓練では、少人数の夜勤者による初期消火活動を重点化し、消火器と移動式粉末消火器の操作方法の習得、並びに消防署への119番通報および豊田市への緊急通報等の手順を確認しました。



8月31日(水)は、上記の訓練に加え、JESCOと運転会社による避難訓練、水消火器訓練および屋外消火栓放水訓練を実施しました。屋外の避難場所では、整列時に十分な間隔を確保することで、密集、密接を避け新型コロナウイルス感染対策にも配慮しました。今後も訓練を継続することで、常に防災意識を持ち、安全な操業を心掛けていきます。

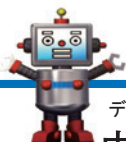
4. 施設見学について

豊田PCB処理事業所では、施設見学のご予約を随時受付けています。

見学にかかる時間はおよそ1時間30分～2時間です。

ご案内は、施設及びPCB処理についての概要説明、見学者通路からの施設見学、情報公開ルームでの説明及びご質問に対する回答となります。

以下の問い合わせ先まで、ご連絡ください。



デジ丸

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

